

クリニックだより

気・心・体

第80号

平成21年10月1日
高森内科クリニック

「高森内科クリニックの目指すもの」

昭和63年4月8日開院し、平成21年4月に21周年を迎えました。この21年間の歩みをまとめながら、これからの展望を述べてみたいと思います。

昭和63年4月8日：開院（内科・小児科・精神神経科を標榜）

小児科から老人まですべての年齢の人を診る、すべての病気を診る、病気だけでなく病人を診る、西洋医学から東洋医学まで診る、という四つの基本を統合したホリスティック医療を目指した。また、鳥取東部地域のすべての人が通院しやすい場所を選んだ。

平成2年：臨床心理士の資格を認定される

日本臨床心理士資格認定協会が開始した第一回資格認定に応募して資格認定を受けた。認定後は、心理療法・カウンセリングをさらに積極的に行ってきた。心身症・神経症・うつ病も積極的に治療し、臨床心理の重要性を深く認識した。患者の心だけでなく、治療家自身の心も常に見つめておかねばならないことに気がついた。

平成3年：日本東洋医学会専門医の認定を受ける

漢方医学を勉強し始めて18年目のことであった。百数十種類の漢方エキス剤が使えるようになった。煎じ薬による治療はせず、エキス剤での治療に専念することを決意。

平成6年：Bi Digital O-Ring Test（オーリングテスト）を導入

漢方薬の選定と病変臓器の診断のためにオーリングテストを臨床治療へ導入した。

平成7年：気と気功治療の研究を開始した

オーリングテストは気の診断のテストであることに気づく。気の巡りが悪いと、漢方薬が効かないし、病気も治りにくいことに気づく。

平成8年：気の診断と気功治療（気功治療）を開始

京都・大阪・広島・高知で気功治療を研修し、それを臨床に応用し始めた。

平成9年：診療科目を内科・小児科・精神科・アレルギー科に拡大

ほとんどすべての疾患を治療することをあらためて表明することになった。小児のアレルギー疾患・小児の心身症も専門的に治療をすることになった。

平成10年：気の診断・気功治療の本格的診療が始まる

真のホリスティック医療の第一歩、気の医学の第一歩が始まる。医学には、身体を対象とした医学、精神と性格を対象とした医学、気を対象とした医学があることに気が付き、すべての医学を使わないと治らない病人がいることに気がついた。

平成12年：アドラー心理学を学ぶ

自分の価値観・人間観を根本から揺さぶられることになった。アドラー心理学は共同体感覚がキーワードである。アドラー心理学は野田俊作氏から多くのことを学んだ。精神医学は中井久夫・神田橋條治という名医の著作から多くのことを学んだ。

平成15年：気と霊・魂との関係の研究を始める

平成20年：スピリチュアリズム・神道の研究を開始

「開業後の臨床で患者さんから学んだこと」

「病気の原因について」

(1) 外部要因

微生物の感染、電磁波障害、冷えと湿気、ダニ・カビ・花粉のアレルギー
金属・化学繊維のアレルギー、化学物質

(2) 嗜好品・食品・飲み物・食事の仕方

飲食品の中に含まれる有害物質(添加物・農薬・抗生物質・環境ホルモンなど)
過食・少食・偏食、喫煙と過度の飲酒

(3) 過度のストレス

(4) 性格のゆがみ

価値観・幸福観・欲望のあり方そのものが性格であり、性格は価値判断を
行い、行動を決定していくものである

(5) 気の流入・循環を阻害する（気が合わない）もの

飲食物で気が合わないものを摂食するとき
装身具・衣服で気が合わないものを身につけるとき
気の合わない人や異常な気を出している人のそばにいるとき
気の合わないエネルギーを出している空間にいるとき

(6) その他

遺伝、いわゆる「カルマ」など

- 1, 病院で身体を対象とした医学のみを学んでから開業したが、開業後は精神・心理・性格という身体とは違うものを学ぶことになった。その勉強を深めていくうちに、いつのまにか東洋医学でいう「気」の世界に出会うこととなった。
- 2, 病気の原因について根本から把握して、その改善につとめる医療を行わなければならないことに気が付いた。原因には目に見えるものと、目には見えないものがある。目に見えない世界は扱わないのが日本医学界の無言のルールのようなのである。
- 3, 病気を根本から治療するためには、身体・精神・気の三側面からとらえる必要がある。その三つにはそれぞれのエネルギーと治療法則があるので、それらを深く理解して治療にあたる必要がある。
- 4, 身体世界と精神世界をつなぐものが「気」であり、最も効果的に身体世界と精神世界の異常を改善するものが気の治療のようなのである。また、見える世界と見えない世界をつなぐエネルギーが「気」のように思える。
- 5, できるだけ「検査が少なく、薬が少なく、お金がかからず、苦痛が少なく、迅速である」医療を目指すためには、身体と精神をばらばらに診る医学、検査・薬・手術・放射線のみ依存する医学・医療では限界があり、患者の苦痛と苦悩は軽減されない。その悩みを解決するための切り札は「気の診断と気の治療」であると思う。「気の医学」は21世紀の医学であり、真のホリスティック医学であると思うので、高森内科クリニックはそのパイオニアになりたいと願っています。